

別表第1（第5条関係）

| 週所定勤務日数 | 5日 | 4日 | 3日 | 2日 | 1日 |
|------------------------|-----|-----|-----|----|----|
| 新たに再任用 職員となった日の属する月 | | | | | |
| 4月 | 20日 | 16日 | 12日 | 8日 | 4日 |
| 5月 | 18日 | 15日 | 11日 | 7日 | 4日 |
| 6月 | 17日 | 13日 | 10日 | 7日 | 3日 |
| 7月 | 15日 | 12日 | 9日 | 6日 | 3日 |
| 8月 | 13日 | 11日 | 8日 | 5日 | 3日 |
| 9月 | 12日 | 9日 | 7日 | 5日 | 2日 |
| 10月 | 10日 | 8日 | 6日 | 4日 | 2日 |
| 11月 | 8日 | 7日 | 5日 | 3日 | 2日 |
| 12月 | 7日 | 5日 | 4日 | 3日 | 1日 |
| 1月 | 5日 | 4日 | 3日 | 2日 | 1日 |
| 2月 | 3日 | 3日 | 2日 | 1日 | 1日 |
| 3月 | 2日 | 1日 | 1日 | 1日 | |

平均の勤務時間（ ）が週30時間未満で、勤務日ごとの勤務時間の時間数が同一であり、かつ一週間当たりの勤務日数（以下「週勤務日数」）が月によって変則する場合、雇用期間を通じ平均した週勤務日数（以下「平均週勤務日数」）に応じ、次式により算出した日数とする。

$$\begin{aligned} & \text{週当たりの平均勤務時間} = \text{一日の勤務時間} \times \text{平均週所定勤務日} \\ & \text{付与日数} : 20 \times A / 12 \times B / 5 \quad (\text{小数点以下を四捨五入}) \\ & A : \text{雇用期間(月)} \\ & B : \text{平均週勤務日数(日)} \end{aligned}$$

別表第2（第9条関係）

| 週所定勤務日数 | 5日 | 4日 | 3日 | 2日 | 1日 |
|---------|----|----|----|----|----|
| 免除日数 | 3日 | 2日 | 2日 | 1日 | 1日 |

勤務日ごとの勤務時間の時間数が同一であり、かつ週勤務日数が月によって変則する場合、平均週勤務日数に応じ、次式により算出した日数とする。

$$\begin{aligned} & \text{付与日数} : 3 \times B / 5 \quad (\text{小数点以下を四捨五入}) \\ & B : \text{平均週勤務日数(日)} \end{aligned}$$